



第407号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



鐘の音静かに



カット：
本多紘子

もう師走、慌ただしい季節となりました。今年の夏から秋にかけては猛暑が続く異常気象だったので、冬支度が遅れてしまい、少しの寒さに震える今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年は世界中が異常気象の影響を受け、雨が降らず農作物が枯れたり、乾燥が続きヨーロッパや北米で山火事が続出しました。中国では砂漠が広がったり、パキスタンや北アフリカでも暴風雨で川が氾濫し多くの家が水没しています。日本も線状降水帯が停滞し、大雨で住宅が浸水するという災害が増えています。この異常気象による災害は、地球環境を破壊している人間の仕業だとしたら悲しいですね。

北海道はヒグマ、秋田県では月の輪グマが、山から人里や街に降りてきて食べ物をあさり、時には人を攻撃し死者まで出ています。今年の夏が全国的に暑すぎて、深い森や山にブナの実が成らず、エサを求めて人里に近づいているのです。イノシシや猿や鹿まで人里に近づき、農作物や柿などを食べ放題、農家の人は本当に困っています。野生の動物たちと人が共存できるような、棲み分けが必要ですね。

歳末商戦が賑やかに熱を帯びてまいりましたが、あまりの物価高に年金生活の高齢者達は驚き歎いています。ロシアのウクライナ侵攻に

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

よる戦争やイスラエルとパレスチナの紛争で、石油や小麦などの穀物の価格が極端に上がり、物価全体に影響を及ぼしているようです。戦争や紛争のない世界を願えども、争いの種は尽きず残念です。

未来を夢見ていた宝塚歌劇団の俳優の25歳女性が9月30日、同市の自宅マンションから飛び降りて、敷地内で倒れ死亡しているのが発見されました。遺族側からは、女性に対するいじめやパワハラがあったのではと検証を求めています。宝塚歌劇団は伝統的に「規律」を重視した人間教育を掲げ、その象徴が「清く正しく美しく」の言葉です。宝塚音楽学校では「挨拶や言葉遣い、礼儀作法」などを「芸事と向き合う真摯さ」と位置づけ、上級生が下級生へと「規律」を厳しく受け継いでいくという「気風」が守られてきました。

歌劇団を退団した方が「どんなに暴言を吐かれても上級生には反論できず、誤り続けるしかない。家族に相談するのも外部漏らしと呼ばれ御法度だった。度を越した指導や労働環境が当たり前だと洗脳（マインドコントロール）され、睡眠時間が数時間でも自分が悪いからだと思います。自分を責める体質こそ問題です」と指導の弊害を語られました。宝塚歌劇団が本場の意味で清く正しく成長して欲しいな。

弘法大師空海の『一切経開題』に「本心は主、妄念は客なり。本心を菩提心と名づけ、または仏心と名づけ、または道心と名づく」とあります。菩提心とは「悟りに向かう心」のことです。人間は生まれながらに菩提心があるが、日々湧き起こる己れの欲望にとらわれ、苦しみ悶えて、悟りの心を見失う。しかしある日、「人間は何のために生きていくのか」という本質的な問題にぶつかった時、「悟りの心を求めなければ安心できない」とあり、その心が菩提心なのです。

マインドコントロールを最近では「洗脳」という言葉で、悪い意味に使っていますが、心を抑制したり、理性や知性を統制して、安らかな自分の本心に戻るといふ良い意味もあります。あなたも「生きる意味・死にゆく意味」を真剣に尋ねて見ようよ。合掌（奥原 曇龍）

『大切な出逢いが有れば別れあり 鐘の音静かに今年も暮れ行く』 どんりゅう



カット：
奥原 綾

ともしび説法

日時・十二月 十一日「月曜日」 午後一時半から四時まで。

「歎異抄（たんにしょう）に学ぶ」

場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、
お寺についてもっと知りたい方

心光寺 倉敷 検索



お釈迦様ものがたり

お釈迦様の従弟に当たる30歳ほど若いダイバダッタが、仏教教団を支配しようとして大変な騒動を起こしていることを続けざまにマガダ国のアジャセ新王に頼んで、お釈迦様を暗殺しようと企んだダイバダッタだが、暗殺者達はことごとく失敗します。

業を煮やしたダイバダッタは、お釈迦様が霊鷲山で説法されていると聞き、自ら山上に行つて、大きな石を転がし落とし、殺そうとしましたが、石は途中でこわれ、わずかに石の破片がお釈迦様の足指に当たり、血を出します。お釈迦様はすぐに名医ジワカの治療を受けられました。これが仏身より血を流させる五逆罪として有名になります。

またも失敗したダイバダッタはマガダ国の首都王舎城で有名なナーラギリという暴悪の象を、象師に頼んで、お釈迦様が托鉢のために、比丘衆を率いて街路を歩かれていますところに放たせました。これを見た比丘達は、お釈迦様を庇おうとしたが、お釈迦様は鼻をあげ両耳を逆立てて走り来る狂った象に対し、慈悲の心で立ち向かったので、さすがの象も鼻をたれ従順になりました。この噂が広まると、ダイバダッタの信用は失墜します。

それでもダイバダッタは自分の教団が欲しくて不慮の日に、仏教事情をよく知らないワツジ出身の五百の比丘達を誘って、象頭に連れ出します。教団の分裂を心配した二大弟子であるサーリプッタとモツガラーナは、これを阻止するために、ダイバダッタに従ったふりをして象頭山に行きます。

ダイバダッタは夕方になると種々の説法をしますが、それが終わると安心したのか深い眠りに落ちます。その間にサーリプッタとモツガラーナは彼ら比丘達の考えが誤っていることを説き、竹林精舎に引きつれ戻します。それを後で知ったダイバダッタは熱血を吐いて、苦しんで死にます。合掌(奥原曇龍)

世の悩みつつみて静かに暮れてゆく

鐘の音響くともしびの寺

田辺多恵子



11月3日 秋の報恩講法要 法中方と総代さんたち

ともしび法話

年の暮れとなり、慌ただしい季節となりました。皆様お元気ですか。体調に気を付けて、明るく来年を迎えたいものです。

お寺も秋の法要が無事に終わり、年末や新春の行事の準備で大変です。皆様、心光寺の行事に家族で気軽にお参り下さい。

心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

夫が平成9年に56歳で突然の心筋梗塞でお浄土に旅立ちました。今年は双子の息子が56歳を迎え、心の健康と身体の健康を願いながら、師走を迎えます。生かされている命に感謝し、悔いなく歩みたいです。

倉敷市北畷 有井ツヤ子

【除夜の鐘】のお知らせ

十二月三十一日大晦日の午後2時半より法要後の3時から4時まで鐘を撞きます。深夜の「除夜の鐘」ではなく、夕方に鐘を撞くのは平成30年から6回目です。

心光寺の檀家以外の人も、駐車場が広いので、気軽に参拝し鐘をならして下さい。

ともしび説法

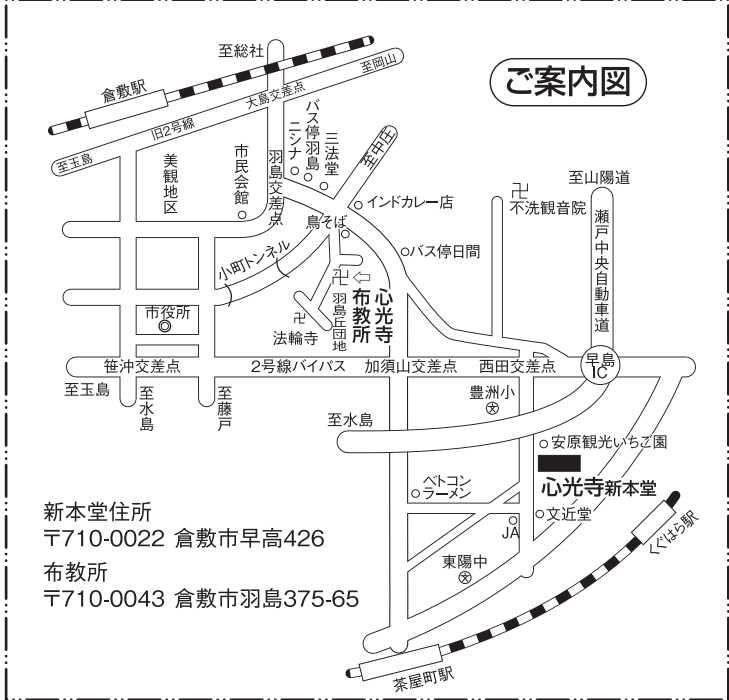
日時・十二月 十一日「月曜日」 午後一時半から四時まで。
「歎異抄(たんにしよう)に学ぶ」

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

○ともしび説法・お寺の行事予定

- 一月 一日(月)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。
- 二月 六日(火)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。
- 三月 六日(水)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。
会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。
倉敷市 松下勇一様 5千円
倉敷市 入江節男様 一万円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。



カット:吉岡美枝

いころの詩

師走を今年も迎えられたよ
染々と人生は渡れないが
凜とした生き方をしたいな
流浪の旅にも憧れながら
冷静に今を楽しみつつ歩む
路傍の寒風に負けず花が咲く
小さきは小さきままに



〒710-0022 倉敷市早高426

浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「407号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は、心光寺までご連絡下さい。合掌 総代長 本家豊彦